

6. 配線の接続

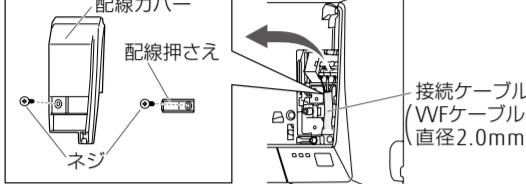
警告

- 接続ケーブルは VVF ケーブル直径 2.0mm^{*}を使用する
より線は絶対に使用しない
より線を使用すると火災の原因になります。
- 端子盤への接続ケーブルの差し込みは確実に行う
差し込みが不確実ですと火災の原因になります。
- 接続ケーブルは必ず配線押さえで固定する
- 接続ケーブルを途中で接続しない
故障、感電、火災などの原因になります。

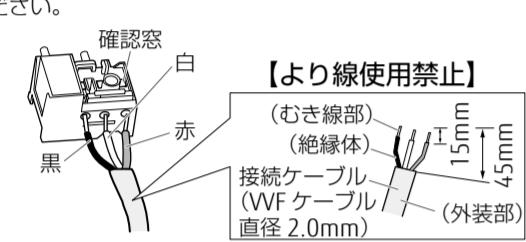
*最大電流が 15A 以下の機種で、電線の長さが 10m 以内の場合は、直径 1.6mm の接続ケーブルも使用できます。再利用時に直径 2.0mm の接続ケーブルを推奨します。

室内機の配線

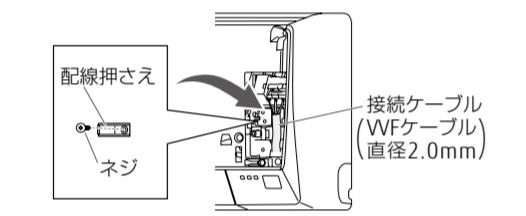
- ①吸込グリルを開けます。
- ②配線カバーをはずします。
- ③配線押さえをはずします。
- ④接続ケーブルを室内機裏側から通します。



- ⑤接続ケーブルの先端を端子盤に確実に差し込みます。
・むき出し部の芯線は、まっすぐにむき線部が見えなくなるまで差し込んでください。
- ・むき出し部の芯線が確実に挿入されているか、確認窓から確認してください。



- ⑥接続ケーブルの外装部を配線押さえで固定します。(ネジで固定してください。)



- ⑦配線カバーをネジで取り付けます。
- ⑧吸込グリルを閉めます。

注意

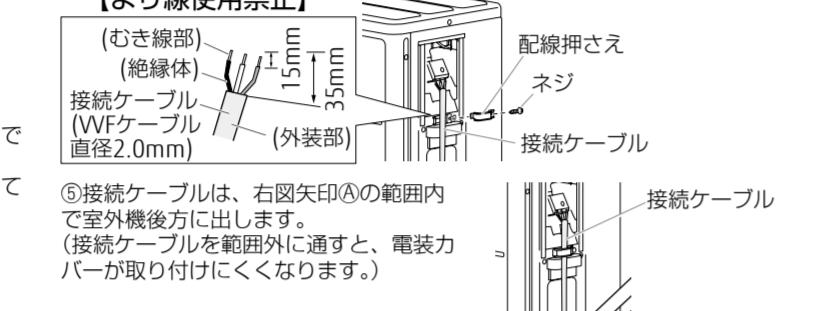
- 端子盤の番号と接続ケーブルの色は、室内機と室外機を合わせる誤配線をするや電気部品を破損することがあり、発煙、発火の原因になることがあります。
- 接続ケーブルの外装部を押さえます。(この部分で固定すること)
- 電線カバーで接続ケーブルをはさみ込まない
ケーブルが傷つきショートするなどして、感電や火災の原因になることがあります。

室外機の配線

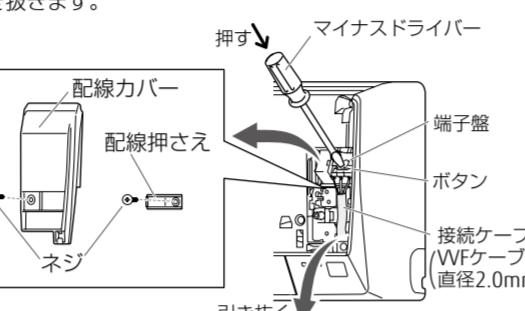
- ①電線カバーをはずします。(下図参照)
- ②室外機の配線押さえをはずします。
- ③接続ケーブルの先端を端子盤に確実に差し込みます。
・むき出し部の芯線は、まっすぐにむき線部が見えなくなるまで差し込んでください。
- ④マイナスドライバーで端子盤のボタンを押しながら接続ケーブルを引き抜きます。

接続ケーブルの抜きかた

- ⑤接続ケーブルを外装部を配線押さえで固定します。(ネジで固定してください。)

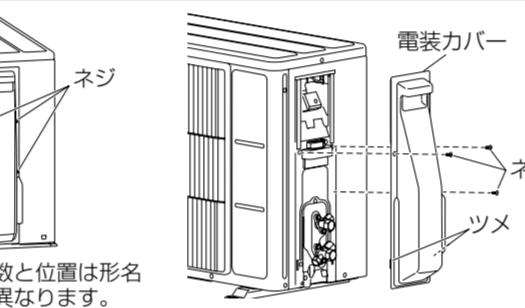


- ⑥接続ケーブルは、右矢印印の範囲内で室外機後方に差し出します。(接続ケーブルを範囲外に通すと、電線カバーが取り付けにくくなります。)

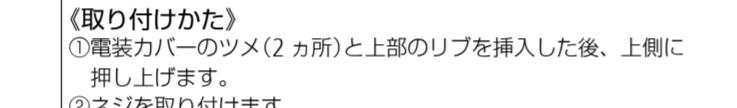


電線カバーのはずしかた・取り付けかた

- 【はずしかた】**
- ①ネジをはずします。
 - ②電線カバーを下側に押し下げてから、手前に引いてはずします。



- 【取り付けかた】**
- ①電線カバーのツメ(2カ所)と上部のリフを挿入した後、上側に押し上げます。
 - ②ネジを取り付けます。



- ③配線カバーをネジで取り付けます。
- ④吸込グリルを閉めます。

9. 仕上げ

配管接続部の断熱

- 接続配管の断熱材と室内機配管の断熱材を市販のビニールテープでスキマがないようシールします。
断熱材を突き合わせる。

(取り付けかたは、「6. 配線の接続」の項目を参照してください。)

●接続ケーブルを接続配管に沿わせて

テープで仮留めし、本体より外側の見

える部分に化粧テープを巻きます。右

出し、左出し、左下出し配管

の場合は、本体から出る部分の化粧

テープをしっかりと巻いてください。(屋外

になる部分では、水が入り込むまいよ

う配管の下側からテープの幅 1/3 位重

ねて巻いてください。)

●接続配管は、サドルなどで外壁に固定

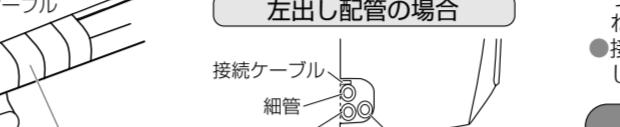
します。

電装カバーの取り付け

- 室外機の電装カバーを取り付けてください。
(取り付けかたは、「6. 配線の接続」の項目を参照してください。)

接続配管の固定

- 左出し・左後出し・左下出し配管の場合は、室内機背面の配管収納部に納收する範囲内にクロステープを巻きます。

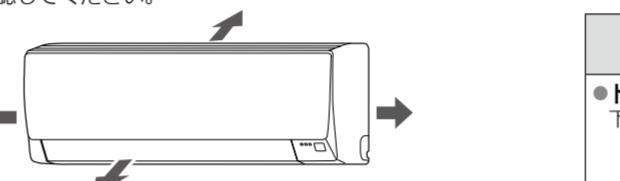


室内機の固定

- 室内機の下部を壁側に押しつけて、据付板のひっかけ部に室内機の下部ツメ(2カ所)を掛けます。

次の事項を確認してください。

- 確実に上下ひっかけ部がはめ込まれているか、室内機を前後左右に動かして確認してください。



- 室内機は水平・垂直に取り付けられていますか。

- 左後出しの場合、ドレンホースは壁穴用パイプの下側になっていますか。



- ドレンホースを下水道に入れない

下水道内に発生した硫化水素などの腐食性ガスが熱交換器を腐食させ、ガス漏れが起こる場合があります。

●高層住宅、高気密住宅などで強い風を受けたときや、換気扇(レンジフードなど)を使用したときに、空気がドレンホース内を室

内側に流れ、異音(ボコボコ音など)や水漏れが発生することがあります。対応品(有償)を用意しておりますので、当社コールセンターへお問い合わせください。

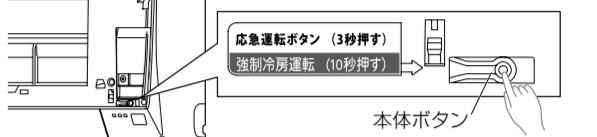
10. 試運転

試運転前の確認

- 電源について
・電圧は正しいですか。「1. 電源について」を確認してください。
- ・正しく接続されていますか。
- ・コードの加工・中間接続を行っていますか。
- アース線について
・アース線の接続は確実にされていますか。
- ・差し込みは確実なところですか。

試運転の実施

- 冷房(暖房)試運転を行い下記「試運転時の確認」の項目を確認してください。
- 運転方法については、取扱説明書に従ってください。
- 室温によっては室外機が運転しないことがあります。その場合は、エアコンを停止させて室内機の「本体ボタン」を 10 秒以上押してください。「運転ランプ」と「タイマーランプ」が同時に点滅し、冷房試運転が開始されます。その後、リモコン操作により「暖房」を選択し、約 3 分後に暖房試運転が開始されます。(リモコン操作については取扱説明書に従ってください。)
- 試運転を終了するときは、室内機の「本体ボタン」を 3 秒以上押すか、リモコンの「停止ボタン」を押してください。



注意

- 新築物件やリフォームなどの内装工事、床面のワックスかけ時には、エアコンを運転しない
- 作業終了後は、エアコンを運転する前に十分な換気を行う
- 水漏れや露飛びの原因になることがあります。

試運転時の確認

- 室内機
①リモコンの各ボタン操作で正常に動作しますか。
- ②各ランプは、正常に点灯しますか。
- ③風向板は、正常に動作しますか。
- ④冷・温風が出ますか。
- ⑤ドレン排水は正常ですか。
- エアフィルターをはずし、水差しなどで水を注いでドレン排水が正常であるか確かめてください。

11. お客様への説明

- 取扱説明書に従って、お客様にご使用方法、お手入れのしかたなどを説明してください。
- 保証書、取扱説明書、据付説明書を室内機に添付していますので、工事完了後お客様に保管していただこうようお渡しください。

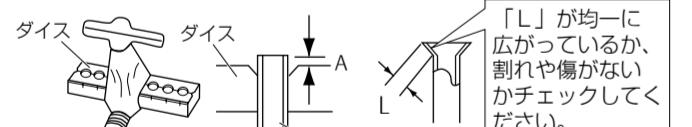
7. 配管の接続・エアバージ

警告

- フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締め付ける
フレアナットの締め付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ、冷媒漏れの原因になります。
- 据付作業では、圧縮機を運転する前に確実に接続配管を取り付ける
接続配管が取り付けられておらず、かつサービスバルブが開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂、けがなどの原因になります。

フレア加工

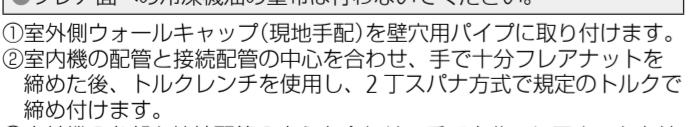
- ①パイプカッターで接続配管を必要な長さに切断します。
- ②切粉が钢管に入らないよう下向きにしてバリを取ります。
- ③フレアナットを钢管に挿し、フレア工具でフレア加工します。



銅管外径	A (mm)
R32 もしくは R410A 用フレアツールクラッチ式 6.35mm(1/4")	0 ~ 0.5
9.52mm(3/8")	

配管の接続

- 配管は折れ防止のため、急激に曲げたりせず半径 70mm 以上で曲げてください。
- 配管は同じ箇所の曲げ伸ばしを何度も行いますと、折れるおそれがありますのでご注意ください。
- 本体のフレアナットは、配管接続の直前まではずさないでください。
- フレアナットへの冷凍油膜の塗布は行わないでください。



フレアナット	締付けトルク
6.35mm(1/4")用	16.0 ~ 18.0 N·m
9.52mm(3/8")用	32.0 ~ 42.0 N·m

エアバージおよびガス漏れ検査

- 地球環境保護のため、必ず真空ポンプ方式でエアバージしてください。

- ガス漏れ検査は、販売店または専門業者に依頼する

- 真空ポンプおよびゲージマニホールドは、使用前に製品付属の説明書を読み、正しく使用してください。

- 真空ポンプは、油がオイルゲージの指定線まで入っていることを確認してください。

- ガス漏れ検査は、ガス漏れ検知器により配管接続箇所からのガス漏れがないか調べてください。[なお、HFC 系冷媒用(R22)ガス漏れ検知器では、HFC 系冷媒(R32)の検出能力が低いため、HFC 系冷媒対応のガス漏れ検知器を使用してください。]

- アース棒(現地手配)を取り付けてください。

- アース線は配線押さえの中を通してください。

- アース用ネジは、室内機・室外機にあります。

- アース用ネジ(1カ所)をはずし、配線カバーをはずします。

- 本体パネルのネジ(3カ所)をはずします。

- 本体パネル中央ツメ(2カ所)をはずします。

- 上面に持ち上げて上部ツメ(3カ所)をはずしてから、本体パネル右側ツメをはずし、手前下側に引いて本体パネルをはずします。

- 上部ツメ(3カ所)を元に戻してから、本体パネル右側ツメをはずします。

- 本体パネル右側ツメを元に戻します。

- 本体パネルを元に戻します。

- 本体パネルを元に戻します。